

平成29年1月27日

12月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

12月分の販売電力量の合計は、65億kWh、対前年比102.3%の実績となり、前年に比べ11月の気温が低く推移したことによる暖房需要の増加などから、前年実績を上回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○電灯

電灯は、前年に比べ11月の気温が低く推移したことによる暖房需要の増加などから、対前年比106.2%と前年実績を上回りました。

○電力

電力は、前年に比べ11月の気温が低く推移したことによる暖房需要の増加などから、対前年比100.3%と前年実績を上回りました。

（表 - 1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区 分	当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 比 (A / B)
電 灯	2,285	2,152	106.2
電 力	4,214	4,200	100.3
合 計	6,500	6,352	102.3

個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2．供給力について（表 - 2 参照）

12月の発受電電力量の合計は、74億7,000万kWh、対前年比99.9%の実績となり、前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率101.9%の豊水となったものの、前年出水率を16.5%下回ったことなどから、発電量は前年を9,800万kWh下回る6億6,100万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を6億9,800万kWh下回る46億600万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を1,000万kWh下回る7,800万kWhとなりました。

（他社受電）

他社火力の運転状況の違いなどから、他社受電合計では、前年を3億5,400万kWh上回る23億4,700万kWhとなりました。

(表 - 2 : 発受電電力量)

(単位 : 百万 kWh、%)

区 分			当 月 績 (A)	前 年 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)
自 社	水 力	自 流 式	6 2 0	7 3 5	- 1 1 5	8 4.4
		貯・揚水式	4 1	2 4	1 7	1 6 5.5
		計	6 6 1	7 5 9	- 9 8	8 7.0
	火 力		4,6 0 6	5,3 0 4	- 6 9 8	8 6.8
	原 子 力		0	0	0	-
	新エネルギー等		7 8	8 8	- 1 0	8 9.7
	合 計		5,3 4 5	6,1 5 1	- 8 0 6	8 6.9
他 社 受 電			2,3 4 7	1,9 9 3	3 5 4	1 1 7.7
融 通			- 2 1 9	- 6 6 3	4 4 4	3 3.0
揚水用動力			- 3	- 2	- 1	1 0 7.9
発受電合計			7,4 7 0	7,4 7 9	- 9	9 9.9
出 水 率			1 0 1.9	1 1 8.4	- 1 6.5	-

新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以上